

スポーツがもたらす地域社会への関係性

〈アブストラクト〉

本研究をするにあたった背景としてスポーツに関する探求をしたかった、経済効果についてニュースのニュースをみて興味を持った、いうものである。また本研究の目的としては経済効果について自分たちなりに考察し、三高生に還元することである。この探求を私が考えたことは、年々経済効果が減少していることの原因として挙げられるのがインターネットの普及だということだ。経済効果を上げるためにには地方公共団体が連携して周辺地域の活性化やイベント開催による人の流入の増加が効果的であると考えた。

キーワード：スポーツ 経済効果 地域貢献 企業との連係 まちづくり

本文

(i) はじめに

私がこの探求をしたいと思ったきっかけはこの大谷翔平の新聞記事である。

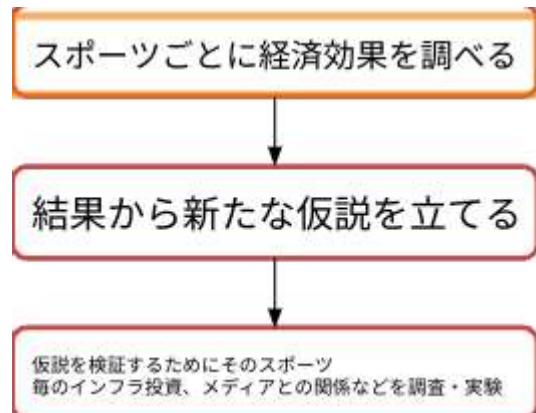


私たちは班全員が運動部に所属していたので、スポーツに関する探求をしたいと思っていた。探究テーマを考えているとき、WBCの経済効果や大谷翔平の経済効果に関するニュースを見ることが多くなった。そこでスポーツと経済効果を結びつけて探求したいと思った。そこでスポーツ×経済効果というテーマで先行研究を始めた。また、このテーマで探求する意義としてスポーツと経済効果を結びつけて経済について自分たちなりの考え方を発表して三高生に還元することを目的とした。

(ii) 研究方法

自分たちなりに仮説を持った状態で、企業と情報交換することでより理解が深まり自分の意見をまとめやすいのではと思った。

私達の研究方法は以下の通りである



①スポーツごとに経済効果を調べる。

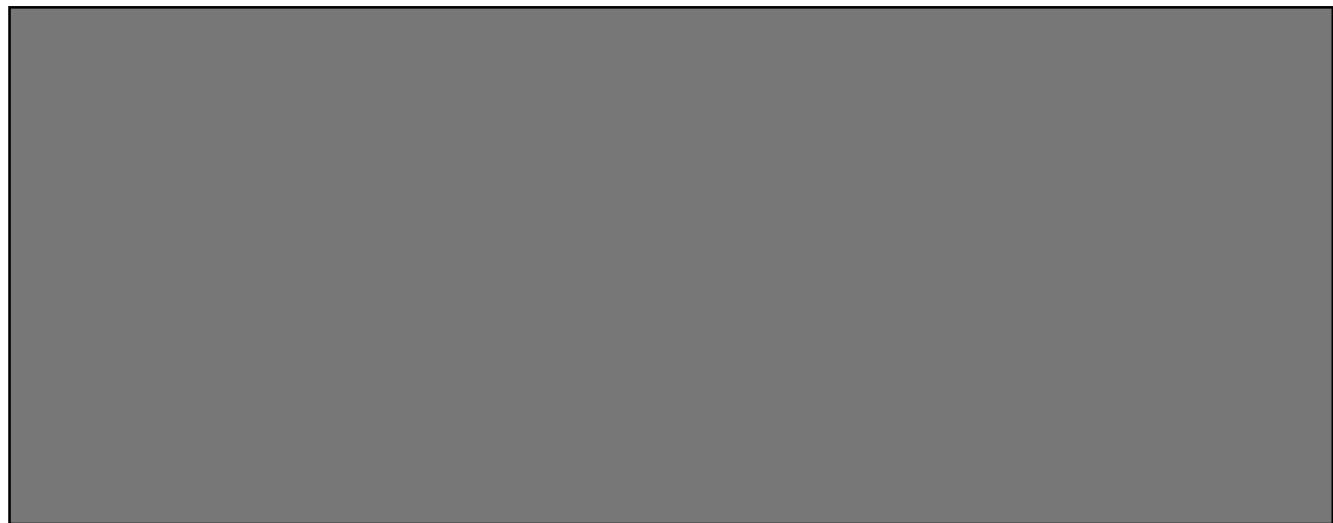
自分たちの気になるスポーツの経済効果を調べ、現代の経済について調べて、経済について自分たちなりの仮説を立てる。

サッカー編①(ロシアW杯)

- ・ **約1815億円**：2015～18年にFIFAが販売権を通じて得る売上高の推計。
- ・ **約3300億円**：2015～18年にFIFAが放映権料から得る収入の推計。
- ・ **約6710億円**：2015～18年のFIFAの売上高の推計。スポンサー契約を結んだ中国企業が増加したことを受け、当初の予想を10%上回ると見通しとなった。
- ・ **240万枚**：開幕前に販売された観戦チケットの数。ロシア国内での販売数が最も多く87万1797枚、次いで多かったのが米国の8万8825枚、ブラジルの7万2512枚だった。(チケット価格は一枚最低1万円以上)



FIFAの売上だけでも1兆円以上！



↑実際に調べたもの

②企業を訪問し、実際に関係者と話し合いをして、自分たちの意見をまとめる

③まとめから新たな仮説を立て、研究を発展させていく

(iii) 研究内容

まずは現在の経済効果の現状である。年々、スポーツに関する経費は減少している。また、経費における各項目の割合は変化していない。経費が減少している、つまり経済効果が年々小さくなっているのではないかと考えた。経済効果が減少すると、地域の財政だけでなく、地域に根づく企業もいい影響は受けない。経済効果が減少している理由として、インターネットの普及が原因だと推測した。インターネットが普及し始めたのは平成中期の頃であるので関係があると思った。インターネットの普及によって、人々は実際に競技会場に足を運ばなくても観戦できるのが大きな理由だろう。

そこで、次に対策である。

ツ出所…一般社団法人日本スポーツリズム推進機構より筆者作成

経済効果を増加させる、つまりスポーツに関わる人数を増やすためには地方公共団体との連携を深めて行くことが大切であると考えた。例えば、競技場周辺の娯楽施設や宿泊しやすい環境づくり、地方公共団体が情報を発信したりしていくことが望ましい。また、この2つの調査から経済効果にはスポーツの知名度や行う場所も大切だと思った。

基本的な知識を入れたうえで企業と連携を取ろうとしたが、そう簡単にはいかなかった。





経済の歴史や現代の経済について詳しく教えてもらった。

(iv) 考察

·個人

プロスポーツチームが本拠地とする地域に観戦客が集まり、飲食店や宿泊施設などの売上に影響を及ぼすことなど観客動員のみならずスポンサーとなる企業と連携した包括的なま

ちづくりや選手との交流、スポーツ人口の増加などスポーツビジネスによる多くの副次的な効果を得られる。

例として、私達は「ムラサキパークかさま」について調べた。

茨城県笠間市にムラサキスポーツとの協力のもと、立ち上げた4600平方メートルのスケート場である。ここでは、企業と地方公共団体が協力して定期的にイベントを行っている。企業と地方公共団体が連携して経済効果を生み出しているいい例であると思う。この例を筆頭に、企業の規模が大きければ大きいほど効果が大きいと考えられる。また、企業の知名度が高ければ高いほど効果が高い。

・班として

大会の経済効果が減少する主な要因は複数ある。まず、大会を開催する際の過剰な施設建設や運営コストの増加が挙げられる。新たなスタジアムやインフラの建設は大きな費用を要し、大会後の施設の活用が難しくなることがある。また、観客の観戦行動が変化し、テレビやインターネットでの視聴が増えているため、スタジアムでの売上が減少することもある。さらに、開催地や主催団体に関する不正や人権侵害の問題が報道されると、観光客やスポンサーの信頼が揺らぐことがある。地域経済との連携が不十分で、地元の中小企業や地域住民の利益を考慮した施策が欠如している場合も、大会の経済効果が最大化されない要因となる。さらに、大会の頻度や規模が増加することで、競争が激化し、各大会の経済効果が分散されることがある。これらの要因が組み合わさることで、大会の経済効果が減少する可能性が高まる。

○今後の課題

・個人

経済効果について調べたり企業と話し合うことはできたが、実際にイベントなどを企画・実行に至らなかつたのが課題だと思う。

・班として

経済活動は複雑な相互依存関係によって形成されており、特定の集団の活動が他に与える影響を正確に理解するためには、その相互依存関係を深く分析する必要がある。さらに、経済効果の評価においては、直接的な効果だけでなく、間接的な影響や経路を特定することが課題となる。

(v)終わりに

この探求を通して、社会の厳しさを学んだと思う。義務教育のように大人が色々やつてくれたような環境とは違い、自分たちで社会の課題を見つけ、それについて調べる。企業との連携も断られたり、詳細な日程を自分たちで決めたりと大変であった。しかしながら、やり遂げた後の達成感は今まで感じたことのないものであった。89ersと協力してバスケットボール教室を開くなどの提案などを思いついたが、提案するまでには至らなかつた。このようなテーマの探求を後輩に是非引き継いでほしい。そして、協力してくれた大阪取引所さまに感謝を申し上げたい。

(vi)参考文献

https://www.dir.co.jp/report/consulting/vision_ir/20131218_008026.html

https://www.mext.go.jp/sports/content/20210329-spt_sseisaku01-000013723_10.pdf

<https://images.app.goo.gl/auDTqPCbkJ9EFt17>

<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/toshikei/kikaku/machi/documents/4kasama52.pdf>